



料金後納

ゆうメール

世田谷パブリックシアター SETAGAYA PUBLIC THEATRE

学芸プログラム

通信 No.17

2023年4～6月号



皆さん、お元気でしょうか？ 5月に新型コロナウイルスが、5類に変更になって、さまざまな活動において制約が取れて活気を取り戻したように思えます。ただ、それも行政的な取り決めであって、本当のところ新型コロナウイルスはどのように変容してくるのかまだまだ予断は許しませんね。気が抜けない毎日が続きます。

そんな中、劇場の学芸事業は、活気を取り戻しつつあります。

まず、劇場で行うワークショップに、たくさんの方々がご参加くださり、みなさんが、世田谷パブリックシアターのワークショップに興味を持っていることに、改めて喜びを感じました。

『子どもごちゃまぜ演劇ワークショップ～6月のおにぎり編』では、小学校1年生～22才までの参加者が集い、『デイ・イン・ザ・シアター～唄のタイトルでえんげきしよう！編』では、「だれでもデイ」や「おとなデイ」に、子どもから大人まで多くの参加がありました。そして、『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』は、今年から、世田谷区教育委員会で、世田谷区立中学校部活動の地域移行にあわせたトライアル（試行）事業として実施し、多くの中学生が、当劇場での創作に関わってくれることになりました。たくさんの子供たちが、演劇体験をすることによって「人とのコミュニケーションや、協働することの喜びを知ってくれるのは、劇場としては本当に、嬉しいことです。未来を託す子どもたちが劇場文化に触れることは、おそらくではありませんが、きっと未来の日本を明るくしてくれるように思います。

また、6月には、高齢者施設や障害者施設を巡る『あなたとチャチャチャのチャーリー』が本格的に再始動しました。昨年までは、規模を縮小しての巡回でしたが、今年はお芝居も復活して、たくさんの方々に楽しんでいただくことができました。

こうした活動を通して感じるのは、パンデミックによって人々の間に生まれてしまった距離は、自分達で接近して回復するしかないということです。私たちは、他者とのコミュニケーションを通じて初めて存在を確認することができる生き物なんですね。

だから、世田谷パブリックシアターの学芸事業チームは、どんどん皆さんとの距離を積極的に縮めていきたいと思っています。どうぞ、お楽しみにお待ちください。

世田谷パブリックシアター・芸術監督 白井 晃

7月8月のピックアップニュース 6月30日時点

*WS=ワークショップの略

子ども	7月22日(土)、8月13日(日)	『子どもごちゃまぜ演劇ワークショップ』	劇場で行う子どものための演劇WS
	7月24日(月)～8月30日(水)	せたがやこどもプロジェクト2023《WS編》 『小学生のためのエンゲキワークショップ』(11コース) 『中学生のためのエンゲキワークショップ』(1コース) 『高校生のためのエンゲキワークショップ』(1コース)	劇場で行う子どものための演劇WS
	7月31日(月)～8月2日(水)	『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』(夏休み)	劇場で行う子どものための演劇WS
区民参加	7月1日(土)、8月31日(木)	『デイ・イン・ザ・シアター』1日限りの「演劇&劇場」体験WS	劇場で行う誰でも参加できる短時間のWS
	7月25日(火)、29日(土)	『世田谷パブリックシアターダンス食堂 メニュー23 伊藤キム』	劇場で行うダンスについてのトークとWS
地域連携	7月5日(水)	『かなりゴキゲンなワークショップ巡回団』 笹原小学校「目の教室」	学校での演劇WS
	7月8日(土)	下馬地区アートプロジェクト『極楽フェス 2023』	下馬地区で行うアートフェスティバル
	7月12日(水)、7月13日(木)	『かなりゴキゲンなワークショップ巡回団』深沢中学校2年生	学校での演劇WS
	7月25日(火)、26日(木)	『太子堂ワークショップ 2023』	保護者主催イベントでの演劇WS
	7月24日(月)～9月25日(月) 公演：9月25日(月)	世田谷パブリックシアター×玉川地域社協事務所 共催企画 「劇団新風」公演	地域課題をテーマに作品創作WSと上演
	8月24日(木)	世田谷区教員研修「学芸会・学習発表会」指導	先生のための演劇WS

2023年4月～6月学芸事業一覧

子ども …… 子どものためのプログラム 区民参加 …… 世田谷区民、その他一般参加者のためのプログラム
 地域連携 …… 区内施設、NPO他と協力して実施するプログラム 専門家育成 …… レクチャーや人材育成の取組

- 4月**
- 5日(水) 『**ディ・イン・ザ・シアター ～26回目の劇場のお誕生日編～**』
1日限りの「**演劇&劇場**」体験WS 区民参加
14:00～17:30 だれでもデイ(進行役:とみやまあゆみ)
1997年の開場から実施しているワークショップ。毎年世田谷パブリックシアターが開場した4月5日を「劇場のお誕生日」として、特別な内容を企画している。26周年となる今年は、参加者が「劇場で働いている人」にインタビューを行い、その内容を演劇に立ち上げることで、より劇場への理解を深める機会とした。
 - 15日(土) **演劇WSラボ・クラブ活動「感想クラブ」**① 専門家育成
 - 16日(日) 『**地域の物語2023**』上映会&振り返り 13:30～17:00 区民参加
「地域の物語」は、テーマに関心を持ち集まった参加者と共に、3か月程度をかけて参加者たちの思いや発見したことを発表作品にまとめるプロジェクト。「看取り」をテーマに据えた『地域の物語2023』は、2023年3月19日にシアターラムで「からだコース」「えんげきコース」の2作品を発表。この日は両コースの参加者たちが集まり、合同の映像上映会を実施した。終了後は鑑賞しての感想などを伝えあった。
 - 22日(土) **演劇WSラボ「キックオフミーティング」** 専門家育成 レポート
「演劇WSラボ」は、2018年度より開始した演劇WSの専門家育成事業。公募で集まった研究員たち(ファシリテーター、学校教員、福祉従事者、俳優、研究者、学生等)が共同で研究・実験するクローズドのクラブ活動を行うほか、研究員同士がより交流を深め、ともに学び合うためのミーティングを設定している。今回、若干名の新たな研究員を迎え、今年度のスタートとなる「キックオフミーティング」を開催した。昨年度のクラブ活動の報告から、今年度の「演劇WSラボ」に期待すること、どんなことを学び合い、活動していきたいかについての意見交換を行った。
 - 23日(日) 『**子どもごちゃまぜ演劇WS 4月のごちゃまぜシアター編**』 子ども レポート
13:00～17:00(進行役:有吉宣人)
 - 29日(土) 『**フリーステージ2022**』 区民参加
 - 30日(日) 29日(金・祝)「**世田谷クラシックバレエ連盟**」
30日(土)「**音楽部門**」

- 5月**
- 5日(金) 各日「**ダンス部門**」
 - 6日(土)
 - 7日(日)
 - 10日(水) 『**かなりゴキゲンなWS巡回団**』 地域連携
(以下、『巡回団』) 笹原小学校「**目の教室**」(進行役:富永圭一)
 - 12日(金) **演劇WSラボゼミ「学校での演劇WS体験」** 専門家育成
12日(金) 18:00～21:00/13日(土) 13:00～17:00
(進行役:すずきこ一た、とみやまあゆみ)
世田谷パブリックシアターが世田谷区内小・中学校で行っている演劇WS『かなりゴキゲンなワークショップ巡回団』契約進行役による、研究員のみを対象とした、学校でのプログラムを実際に体験するゼミを開催した。今回は小学1・2年生の教科「日本語」の単元(1年生「いろいろなものになりきってみよう」、2年生「登場人物を演じてみよう」)で行っている活動内容を取り扱った。
 - 16日(火) 『**新小学1年生のためのスタートカリキュラム**』 地域連携
京西小学校1年生(進行役:すずきこ一た)

劇場の音響スタッフ・照明スタッフ・舞台監督の3名にインタビューを行って、働いているときの気持ちや、自分の夢などについて話してもらいました。その中から参加者がより興味を惹かれたことをみんなで演劇にしていきました。
 参加者からは、「普段知ることが出来ないことを知れて嬉しかった」「今からでも劇場で働いてみたい!」といった声があり、スタッフからも「自分が体験したことがそのまま劇になっていて驚いた」との感想が寄せられました。



発表会から1か月程度たつた映像上映会でしたので、両コースのメンバー共に、客観的に一観客として鑑賞することができたようでした。



弱視通級指導学級の「目の教室」に、学会会で上演する映像作品づくりのお手伝いに行きました。この日は下準備の日。一堂に会する機会が少ない子どもたちが互いのことをよく知り合えるよう、コミュニケーションゲームをたくさん行いました。次回からは具体的に映像作成にむけて進めていきます。

小学校1・2年生の教科「日本語」の活動は、劇場が行っている演劇WSで最もベーシックな活動です。今回はそれを参加者に体験してもらいつつ、単なるプログラム紹介ではなく、進行役が子どもたちをどのようにサポートするのか、どんなことに気を配り、何を大切にしているのかといった、進行する上での「肝」の部分に触れてもらった内容となりました。



- 18日(木) **下馬地区アートプロジェクト『日記と写真クラブ・極楽』** 地域連携
14:00～16:00(進行役:金川晋吾)
- 21日(日) 『**ディ・イン・ザ・シアター ～じゆうに! コラージュ川柳編～**』
1日限りの「**演劇&劇場**」体験WS 区民参加
10:30～12:00 だれでもデイ(進行役:田崎葵)
15:00～17:00 おとなデイ(進行役:田崎葵)
- 24日(水) 『**新小学1年生のためのスタートカリキュラム**』 子ども
- 26日(金) 芦花小学校1年生(進行役:すずきこ一た)
- 27日(土) 『**子どもごちゃまぜ演劇WS 5月のスライドdeどうでショウ! 編**』 子ども
13:00～17:00(進行役:青山公美嘉)

6月

- 5日(月) 『**巡回団**』 地域連携
明正小学校1年生(進行役:大道朋奈)
- 7日(水) 『**巡回団**』 地域連携
笹原小学校「**目の教室**」(進行役:富永圭一)
- 8日(木) **下馬地区アートプロジェクト『日記と写真クラブ・極楽』** 地域連携
14:00～16:00(進行役:金川晋吾)
- 9日(金) 『**巡回団**』 地域連携
明正小学校1年生(進行役:大道朋奈)
- 14日(水) 『**世田谷区立中学校教育研究会 教科「日本語」部会 教員研修**』 地域連携
14:30～16:00(進行役:とみやまあゆみ)
- 15日(木) **演劇WSラボ・クラブ活動「なんちゃってフェミニズムクラブ」**① 専門家育成
- 18日(日) 『**子どもごちゃまぜ演劇WS 6月のおにぎり編**』 子ども
13:00～17:00(進行役:田崎葵)
- 20日(火) **演劇WSラボ・クラブ活動「学校が好きじゃない子のクラブ」**① 専門家育成
- 21日(水) **演劇WSラボ・クラブ活動(番外編)「ゆるっとビブリオバトル」**① 専門家育成
- 22日(木) **下馬地区アートプロジェクト『日記と写真クラブ・極楽』** 地域連携
14:00～16:00(進行役:金川晋吾)
- 23日(金) 『**ディ・イン・ザ・シアター ～唄のタイトルでえんげきしよう! 編～**』
1日限りの「**演劇&劇場**」体験WS 区民参加
15:30～17:30 だれでもデイ(進行役:富永圭一)
19:00～21:00 おとなデイ(進行役:富永圭一)
- 24日(土) **演劇WSラボ・クラブ活動「グリーンケアクラブ」**① 専門家育成
- 24日(土) 『**世田谷パブリックシアター中学生演劇部(1学期)**』 子ども
年間を通じて実施している中学生対象の演劇WS。今年度は世田谷区立中学校部活動の地域移行にあわせたトライアル事業としての実施となり、世田谷区教育委員会の主催で行う。1学期、夏休み、2学期、3学期の4期間で開催するが、年間で参加する区立中学校の生徒と、単発で参加する生徒とが一緒に取り組むこととなる。
24日(土) 14:00～17:00「**自分のはなし、あなたのはなし**」(進行役:有吉宣人)
25日(日) 14:00～17:00「**光を考える、光を活かす**」(進行役:有吉宣人)
- 25日(日)
- 30日(金) **演劇WSラボ・トーク『ラボ生トークシリーズ 花崎編』** 専門家育成
19:00～21:00(トーク:花崎攝)

小学生になったばかりのピカピカの1年生を訪問しました。まだ名前もあやふやなクラスメイトと協力して身体でもの形をつくり、物語の一場面を表現したりと、一生懸命取り組んでいました。振り返りでは「知らない人と遊べるのがわかった」「難しく楽しかった」といった感想を伝えてくれました。

区立中学校の先生方にむけた教科「日本語」の研修を行いました。教科「日本語」は教育特区の認定を受け世田谷区独自に展開しているもので、中学2年生の単元「みんなで作る演劇」の教科書執筆を劇場が担当しています。この研修では、劇場が実際に行っている授業を先生が体験し、生徒の立場になってもらうことで指導のヒントとしていただけるような内容としました。



今年度はじめての中学生演劇部。24日は自分やほかの人の日常の出来事から演劇をつくり、25日はさまざまな「光」を活かした作品づくりに取り組みました。最初は緊張のためかこわばった雰囲気でしたが、ワークを重ねるうちに打ち解け、たくさんのアイデアを活発に出し合っていました。



『ラボ生トークシリーズ』は、研究員(ラボ生)の多様な活動を紹介し、それぞれの知見を交換する場です。今回は、国内外で多様な活動をされている花崎攝さんに、イラクの大学生とのWSや、依存症を抱える人たちとのWSのお話をいただきました。実践の困難さや可能性を感じることができた2時間でした。



レポート 世田谷区立小学校6年生のための「古典芸能鑑賞教室」

5月～6月実施校数: 世田谷区立小学校44校 協力: 万作の会

「小学校古典芸能教室」は、世田谷区教育委員会からの受託を受けて、世田谷区立小学校6年生を対象に、毎年実施している事業です。区内63校の6年生全員が「万作の会」の狂言師による狂言を鑑賞し、ワークショップに参加します。昨年同様、演目『附子』を観劇した後、ワークショップでは、「ずか! ずか! ずか! ずか!」とのこびりを引いたり、「めり! めりめりめり!」と垣根を壊したりといった所作も体験しました。今年はさらに、演目『柿山伏』の中の柿を食べる所作を体験する学校もありました。例年、6月7日に行っていましたが、今年は熱中症対策のため、前半は5月6日、後半は2024年2月の実施となります。世田谷の6年生、全員に会えるのを楽しみにしています!

5月～6月開催実施校

5月31日(水)	桜丘小学校、笹原小学校、千歳台小学校、芦花小学校
6月1日(木)	瀬田小学校、玉川小学校、等々力小学校、二子玉川小学校
6月2日(金)	希望丘小学校、給田小学校、烏山小学校、船橋小学校
6月12日(月)	京西小学校、桜町小学校、深沢小学校、用賀小学校
6月13日(火)	桜小学校、城山小学校、世田谷小学校、山崎小学校、若林小学校
6月14日(水)	上北沢小学校、烏山北小学校、経堂小学校、八幡山小学校、武蔵丘小学校
6月15日(木)	旭小学校、駒沢小学校、三軒茶屋小学校、中丸小学校
6月19日(月)	池尻小学校、駒籠小学校、弦巻小学校、中里小学校、松丘小学校、三宿小学校
6月20日(火)	赤堤小学校、代田小学校、松沢小学校、松原小学校
6月23日(金)	祖師谷小学校、千歳小学校、塚戸小学校、山野小学校



レポート



『子どもごちゃまぜ演劇ワークショップ』

日時：4月23日(日)、5月27日(土)、6月18日(日) 場所：世田谷パブリックシアター稽古場

『子どもごちゃまぜ演劇ワークショップ』(以下、『ごちゃまぜWS』)は、小学生から22歳までの「ごちゃまぜ」な年齢の子どもたちが集まって演劇をつくる場です。2013年よりスタートし、年間2回程度、実施してきましたが、2022年11月より月1回の定期開催とし、今年度は、年間12回に回数を増やしました。

その一つのきっかけとなったのは、新型コロナウイルスの流行にあります。世田谷パブリックシアターでは、劇場の「入り口」として短時間の演劇WS『デイ・イン・ザ・シアター』(以下、『デイ』)を月に1回程度開催しています。『デイ』はどの年齢の方でも参加できますが、コロナ流行前の参加者は大人が多く、子どもはほとんどいませんでした。しかしコロナ渦になると、子どもの参加が大幅に増えました。

私たちは、コロナ禍で子どもたちが自由に参加できる文化的な場が大きく制限されたことにその理由があるのではと考えました。また同時に、参加した子どもたちからは、人と関わる経験の場を圧倒的に失っていることへの影響を、また保護者からは、そのことへの怖れと強いフラストレーションを感じました。そうした需要の高まりと課題意識から、定期的な開催へと変更することにしました。

『ごちゃまぜWS』の時間は4時間に設定しています。子ども、特に小学生にとっては少し長い時間ですが、共に演劇をつくっていくための過程を丁寧に踏むことができます。はじめてその場で出会った参加者同士が演劇を一緒につくっていくためには、相手に自分のことを伝え、自分もまた相手のことを知り、異なる意見や表現も受け止めあうことが大切です。そのために、シアターゲームなど共通の体験をして、共に楽しい時間を過ごしたり、じっくりひとつのことについて話し合ったりする時間をつくっています。特にコロナ渦で出会った子どもたちから対話の困難さを感じ、そのような時間を充分にとるようにしています。

アフターコロナとなり、行事やイベントも復活し、レジャーや旅行も活況のようですが、『ごちゃまぜWS』には今も数多くの応募があります。コロナが子どもたちの育ちに与えた影響は、今はまだ分かりません。ただ、演劇をつくるということを通して子ども同士が交流する場を、これからも開き続けていきたいと考えています。



レポート



演劇WSラボ「キックオフミーティング」

日時：4月22日(土) 13:00~16:00 場所：世田谷パブリックシアター稽古場 演劇WSラボ研究員：61人

2023年度の「演劇WSラボ」(以下、「WSラボ」)がスタートしました。「WSラボ」は、2018年度より開始した演劇WSの専門育成事業で、公募で集まった研究員が互いに学び合い、WSの研究をしています。今年度の研究員は61名。演劇WSを学校、福祉施設など、地域のさまざまな現場で活用しながら活動している人たちで構成されています。

4月22日のキックオフミーティングには、24名が集まりました。はじめに、互いにどんなテーマに関心を持っているか、どんなフィールドで活動しているかなど、シアターゲームをやりながら共有しました。そのあと昨年度のクラブ活動の報告会、最後にグループに分かれて、今年度のラボに期待すること、どんなことを学び合い、活動していきたいかについての意見交換を行いました。

「WSラボ」は、昨年度に引き続き、研究員によるクラブ活動の実施、劇場が主催するWSへのアシスタントとしての機会提供、レクチャーやゼミなど、さまざまなプログラムを展開していきます。その中のクラブ活動は、6月から開始しました。今年度前期は、以下の4つです。

① いまさらフェミニズムクラブ

フェミニズムの歴史や課題とされてきたことを学び、対話し、自分の考えをより深めていくことを目的に、月1、2回程度オンラインで読書会を開きます。

② グリーフケアクラブ

昨年度から継続。昨年は「隣にいる人も強いグリーフを抱えているかも知れない、そんな時に私達に何ができるだろうか?」をテーマに月に一度集まり話し合ってきました。今年度は、さらにグリーフ緩和に有効なシアターゲームの考案を目指します。

③ 感想クラブ

昨年度からの継続クラブ。月に1度集まって、舞台の配信映像や映画を鑑賞し、ざっくばらんに感想を語り合うことを目的としたサロンのようなクラブです。

④ 学校が好きじゃない子のクラブ

学校などでWSをする際に、他の子と交流が少ない子、クラスに馴染まない子など、気になる子どもたちに焦点を当て、月1回程度集まって話し合いながら、フィールドワークや、新しい学校教育についての調査をします。

今年度はクラブ番外編として、回数限定で行う「100分de名著『ディスタンクション』を見てやってみるクラブ」と、不定期で開催する「ゆるっとビブリオバトル」も発足しました。

この「WSラボ」で得られたものを、研究員がそれぞれの現場に持ち帰り、活かされていくことが期待されます。

